

2019年度「研究者の横顔」レポート

氏名：小嶋リベカ

1. 研究者になるうとしたきっかけ

私はがん専門病院で未成年の子どもがいる患者さんやご家族のサポートをしています。お役に立てる支援を見出したいと考え、研究を始めました。

2. 助成研究の内容紹介

子どもがいるAYA世代のがん患者さんは、治療と子育てを行っており、ご自身の病状のほかにも、子どもとの向き合い方や病気の伝え方など、様々な不安を抱えています。この研究では、未成年の子どもがいるAYA世代のがん患者さんが抱える困難や求める支援の内容などをアンケート調査により明らかにします。その結果を踏まえて、AYA世代のがん患者さんへの支援を行う医療者向け教育プログラムを開発することを目指しています。

3. 2の将来に繋がる結果予想・目標

子どもがいるAYA世代の患者さんのニーズに沿った支援が医療の現場に広がり、患者さんのQOLの向上につながるとよいと考えています。

4. 全国のRFL関係者に一言メッセージ

子どもがいるAYA世代のがん患者さんの支援を充実させることを目指し、研究を進めてまいりたいと思います。